

## 送 辞

厳しい寒さが和らぎ、柔らかな日差しに春の訪れが感じられる季節となりました。

このような佳き日に晴れて卒業される二年生の皆様、御卒業おめでとうございます。作新学院大学女子短期大学部の全課程を終えられ、新たな道を歩まれることを、在校生を代表し心より御祝い申し上げます。

先輩方は一昨年、短大に入学され、一人ひとりが選択した進路に向かって日々精進されてきたことと存じます。二年間の短大生活で、嬉しかったことや楽しかったことだけでなく、辛いことや苦しいこと等の様々な経験を経て、人生における大きな節目を迎えた今日、心に刻まれた思い出を振り返っていらっしゃるのではないのでしょうか。

先輩方が入学された年は、新型コロナウイルスの終息の見通しも立っておらず、授業がオンラインで行われ、様々な行事が中止となる等の制限が続いていたことでしょう。しかし、コロナ禍でも楽しみを見つけ、幼児教育科ならではの実践的な学びを生かしながら、行事を行えるよう工夫をされていました。私たちが入学し初めての行事となる一年生歓迎会では、仮装してクラスごとの発表をしたり、私たちに手遊びを丁寧に教えたりして下さいました。学外オリエンテーションでは、学生生活でのアドバイスを始め、バスの中でも様々なレクリエーションをして下さいました。教えていただいた手遊びを一緒に行う時間もあって、楽しんで貰いたいというおもてなしの心が伝わってきたのを今も鮮明に覚えています。

他にも浴衣を着ての授業や、ハロウィンの仮装、クラス対抗のスポーツ大会、作新祭でのきつぱパーク、クリスマス会での演奏等、様々な学校行事の中で、授業で学んだ力が生かされていました。これらの行事を通して、同じ夢を持った保育者を目指す者としての姿勢や団結力をを見せていただき、私たち一年生にとって先輩方は憧れの存在となりました。

先輩方は、二年間を過ごされた作新学院大学女子短期大学部から、それぞれの道へ羽ばたいていかれます。そこには、数々の苦難以上に、やりがいや満足もあることと存じます。この学舎で培った経験等の学びが必ず役に立ち、心強い味方になってくれるはずです。大きな壁にぶつかった時には、二年間の思い出や出逢った友人、お世話になった先生方の言葉を思い浮かべて、どうぞ前を向いて進んでください。在校生一同、先輩方の思いを受け継ぎ、より一層精進して参る所存です。また、先輩方のように短大の輝かしい歴史の一ページを作り上げていけるよう、日々懸命に勉学に励んでいくことを誓います。今後とも私たち在校生を、温かい眼差しで見守ってくださると心強く思います。

最後となりますが、先輩方皆様の御健康と益々の御発展を心からお祈りし、在校生代表の送辞とさせていただきます。



令和五年三月十九日  
作新学院大学女子短期大学部  
在校生代表 浅倉 朱李